



#### 著作権について

本書は、**Software FX, Inc.**製品について解説しています。**Software FX, Inc.**は本書において明示的または黙示的な保証を一切提供しません。本書に格納している情報（URL やその他の **Internet Web** サイトの参照など）は予告なく変更する場合があります。本書の使用に関するリスクや結果についてはお客様が責任を負います。特に断りのない限り、本書のサンプルで使用している会社名、団体名、製品名、ドメイン名、Eメールアドレス、ロゴ、人名、地名などはすべて架空のものであり現存するものとは一切関係がありません。お客様は著作権に関するすべての準拠法に従わなければなりません。本書の内容は、その一部たりとも、**Software FX, Inc.**の文書による許可を得ずに、複製したり検索システムに保存したりできません。また、電子コピーや複写コピーを作成して配布できません。

**Software FX, Inc.**は、本書で解説している製品に関する特許、商標、著作権、および知的財産権などを申請/取得しています。**Software FX, Inc.**のライセンス契約書に明示的な記載がない限り、本書は製品の特許、商標、著作権、またはその他の知的財産権のライセンスをお客様に提供しません。

© 2010 Software FX, Inc. All rights reserved.

**PowerGadgets** は **Software FX, Inc.**の登録商標です。**XenApp** は **Citrix** の登録商標です。本書に記載されているその他の製品名や会社名は一般に各社の商標または登録商標です。

## PowerGadgets Mobile 製品について

PowerGadgets Mobile は Software FX, Inc.社が提供するデータ表示ソリューションです。この製品はシトリックス・システムズ社の「Citrix Ready」認定製品です。アプリケーションを仮想化してダイナミックに配信する **Citrix XenApp** のテクノロジーを使用してチャート、ゲージ、マップなどのガジェットやダッシュボードをリアルタイムでモバイルデバイスに表示します。エンドユーザは **Citrix Receiver** を使用して各種のモバイルデバイス（Windows Mobile Professional、iPhone、Android、および Blackberry OS など）からサーバサイドのアプリケーションにアクセスできます。

デザインツールの **PowerGadgets Mobile Creator** を使用してモバイルデバイスで表示するガジェット（または、ダッシュボード）を簡単に作成/カスタマイズできます。また、各種デバイスの表示結果をプレビューで確認できます。このデザインツールは無償でダウンロードできます。

**PowerGadgets Mobile for XenApp** はダッシュボードのアプリケーションを Citrix XenApp で仮想化して配信するサーバコンポーネント製品です。

PowerGadgets ダッシュボードのアプリケーションはベクタ形式の図形と.NET のマネージコードで作成します。また、各種のソース（SQL サーバ、ODBC、Web サービス、ファイルシステム、Windows Management Instrumentation (WMI)、および Windows レジストリなど）からデータをリアルタイムで取得してレポート化および監視する機能を提供します。

さらに、Exchange Server 2007、MOM、Virtual Machine Manager など PowerShell 上に構築される Microsoft アプリケーションからも情報を取得できます。詳細については、本書はで PowerShell の機能説明と用例を参照してください。

## システム要求

PowerGadgets のソフトウェアは非常にコンパクトで高パフォーマンスとスモールフットプリントを実現します。PowerGadgets でガジェットを作成および配信・受信する環境は以下の製品をインストールしていなければなりません。

### PowerGadgets Mobile Creator デザインツール:

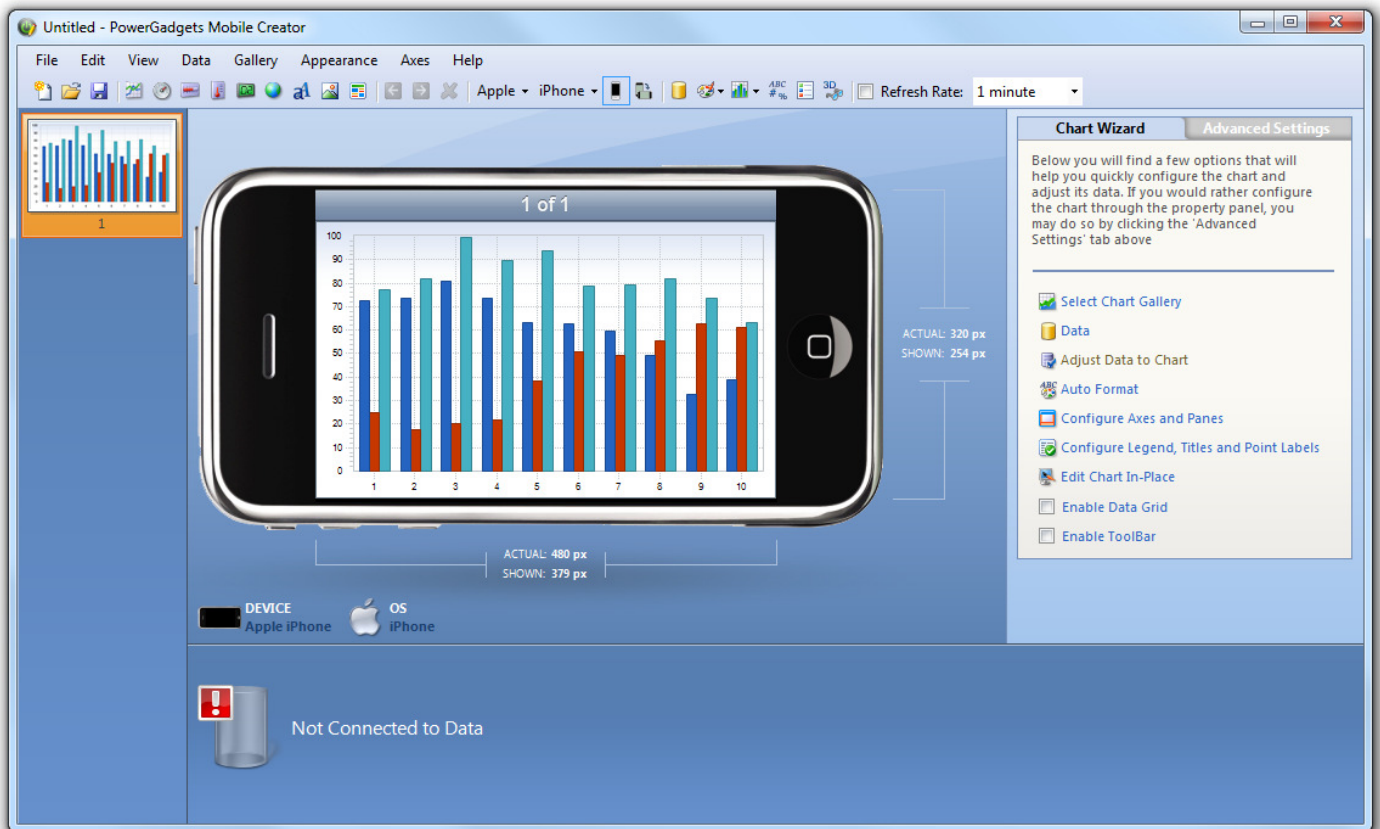
- .NET Framework 2.0
- Windows XP SP3、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、または Windows Server 2008.

### PowerGadgets Mobile for XenApp サーバコンポーネント:

- サーバ: Citrix XenApp 5.0 以上
- クライアント: 各種モバイルデバイス用の Citrix Receiver

## PowerGadgets Mobile Creator でガジェットを作成する

PowerGadgets Mobile Creator の GUI を使用してガジェットの表示アトリビュートやデータソースなどを設定できます。開発者はデプロイ可能なガジェットを簡単に作成できます。また、各種デバイスの表示結果をプレビューで確認できます。



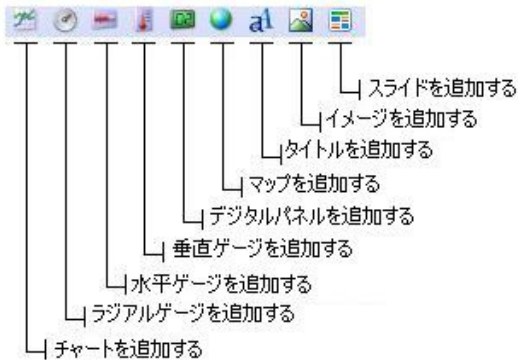
最初にインストーラを実行して、PowerGadgets Mobile Creator を起動してください。次回からは、Windows の[スタート]メニューから起動できます。

## 複数のガジェット：ダッシュボードとストーリー・ボード

複数のガジェットコントロールを1個のアプリケーションに格納して**ダッシュボード**を作成できます。複数のコントロールをスライドの1画面に配置するときに**グリッド**を使用してガジェットのレイアウトを設定してください。また、**スライド**を追加してガジェットの**ストーリー・ボード**を作成できます。エンドユーザはデバイスのタッチスクリーンに触れるだけ、または、スライドの矢印をクリックするだけで、簡単にストーリー・ボードのスライドを遷移できます。また、一部のデバイスではキーボードの右左矢印が使用できます。

## PowerGadgets のグリッド

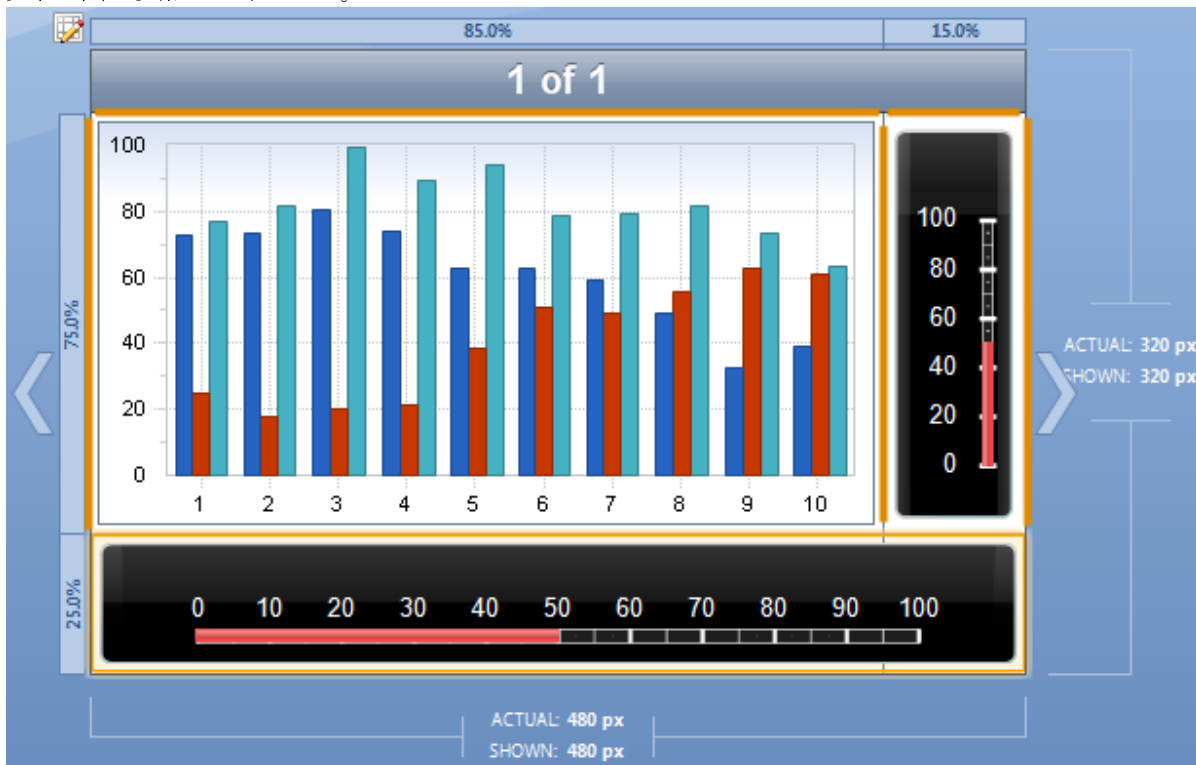
複数のコントロールをスライドの 1 画面に配置するとき**グリッド**を使用してガジェットのレイアウトを設定できます。スライドに格納するコントロールの数や組み合わせには制限がありません。ツールバーのアイコンをクリックして簡単に任意のコントロールを追加できます。以下の図を参照してください。



PowerGadgets Mobile Creator はスライドに追加されたコントロールを自動的に最適なポジションに配置します。

## ガジェットコントロールのポジション変更

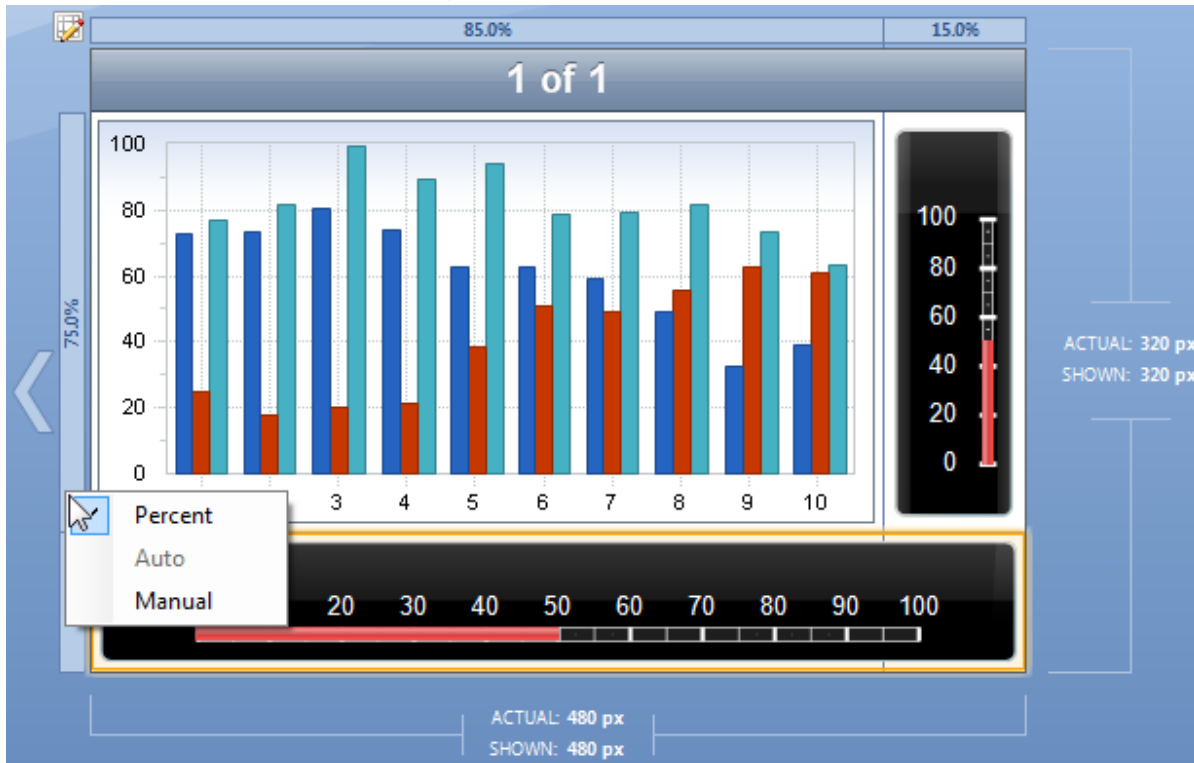
コントロールをグリッド内でドラッグ&ドロップで移動できます。選択されたコントロールは、オレンジ色の輪郭線を表示します。また、新しいポジションではオレンジ色の太線を表示します。また、コントロールを選択してスライド外側の矢印にドロップすると新しいスライドにコントロールを移動します。以下の図を参照してください。



## ガジェットコントロールのサイズ変更

グリッドのセルは輪郭線をドラッグしてサイズを変更できます。ガジェットコントロールの表示サイズはセルのサイズに対して自動的に最適化されます。

また、セルのサイズはパーセント値またはピクセル値で設定できます。セルサイズの設定を変更するにはセルヘッダを右クリックしてポップアップメニューを表示してください



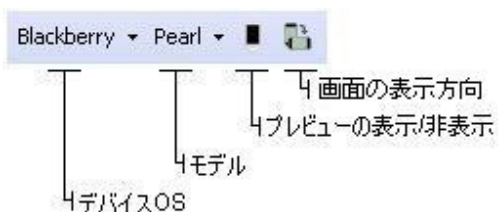
グリッドにイメージのみ、またはタイトルのみ、を表示しているときは、ポップアップメニューで「Auto」を選択してセルのサイズを自動的に最適化できます。

セルのサイズを確定するときは、各デバイスのプレビュー画面で表示方向（「ポートレート（縦長）」と「ランドスケープ（横長）」）を必ずテストしてください。

## モバイルデバイス

PowerGadgets Mobile for XenApp は、クライアントアプリケーションの Citrix Receiver がサポートするすべての受信機に互換性を提供します。

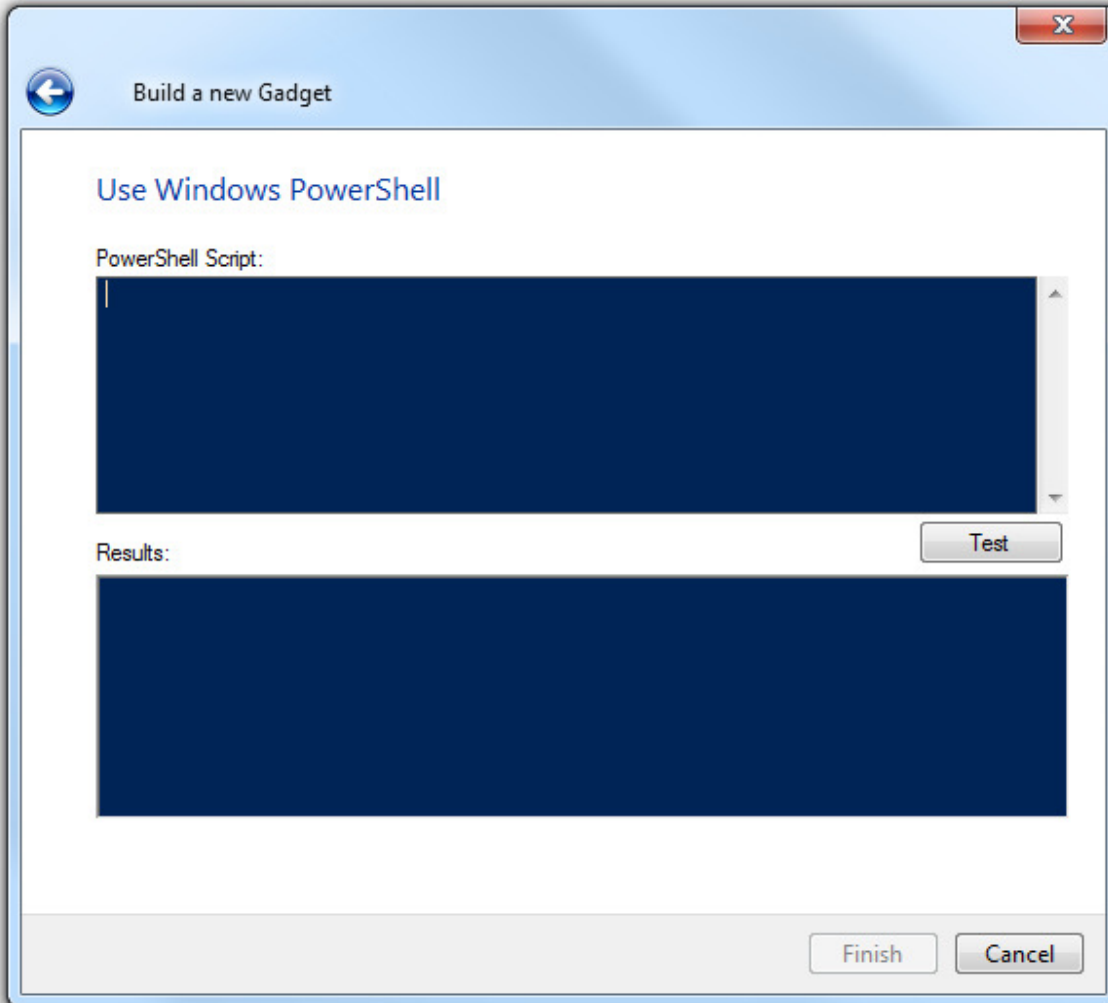
PowerGadgets Mobile Creator は、各種デバイス画面でガジェットのプレビューを表示できます。また、画面の表示方向（ポートレートまたはランドスケープ）を選択できます。PowerGadgets Mobile Creator のツールバーは以下の機能を提供します。



## データを取得してガジェットで描画する

### Windows PowerShell を使用する

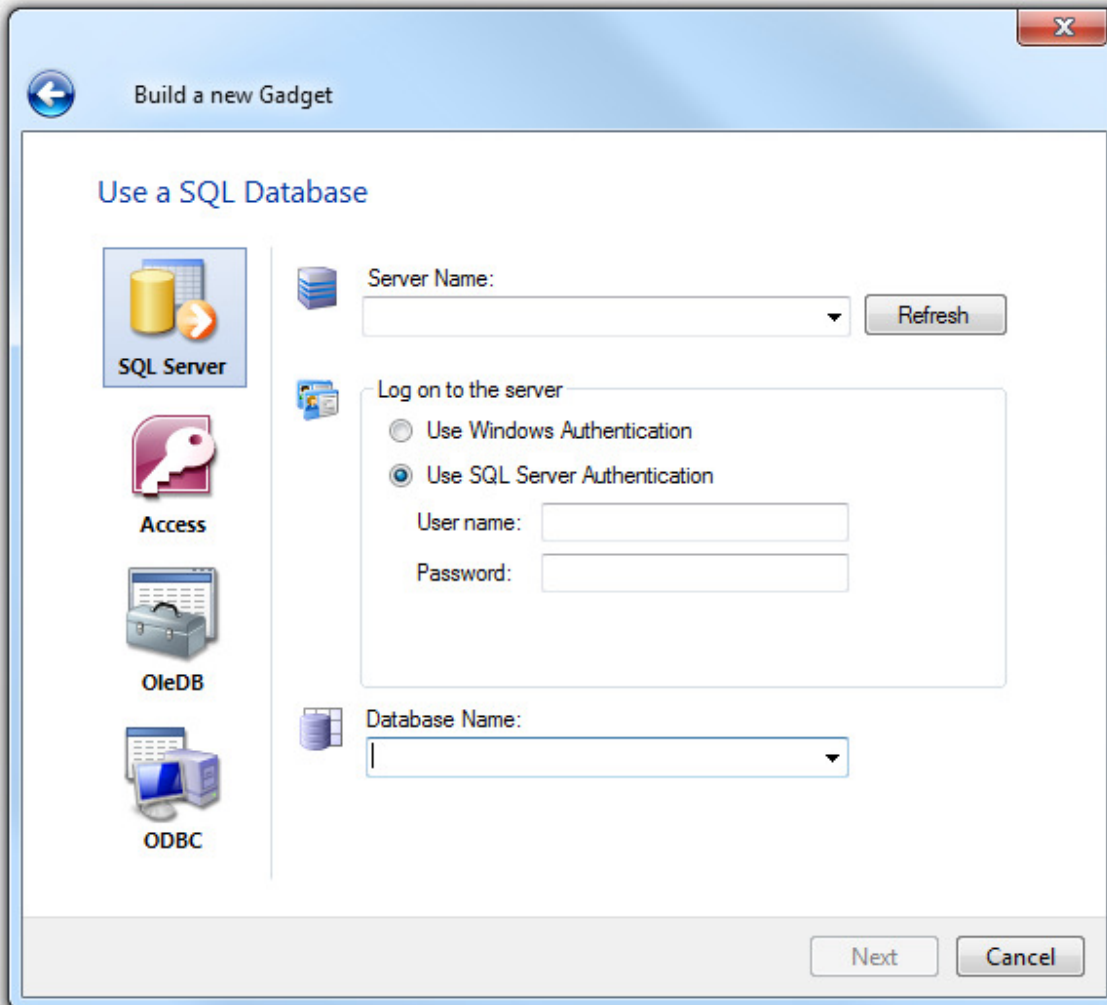
PowerShell からデータを直接に取得してガジェットで表示できます。表示データを生成するスクリプトを記述して PowerShell スクリプトフィールドに格納してください。



PowerGadgets チャートウィザードの「Adjust Data to Chart」オプションを使用して、チャートデータの不要なカラムを除外できます。また、データ系列の名前や順序を変更できます。詳細については、本書の「PowerGadgets チャートのカスタマイズ」の解説を参照してください。

## SQL データベースを使用する

一般的に、ガジェットで描画するデータは SQL データベースから取得します。SQL サーバ、Access ファイル、OleDb、または ODBC データベースなど各種のソースを設定できます。



データベースを使用するにはユーザ名とパスワードが必要です。これらのログ情報はデフォルトでガジェットファイルに暗号化せずに保存されます。ユーザがパスワードを入力した後で「Settings(設定)」リンクをクリックすると「Gadget Security Settings (ガジェットのセキュリティ設定)」ダイアログが表示されます。



秘密情報をガジェットに保存する方法を選択できます。

**秘密情報を保存しない：**

ユーザ名とパスワードをガジェットファイルに保存しません。ガジェットを実行するときにデータベースアクセスの認証情報が要求されます。認証情報はローカルで暗号化されます。

**クリアテキストとして保存する：**

ユーザ名とパスワードを暗号化しないで保存します。ガジェットファイルにアクセスしてこれらの秘密情報を閲覧できます。このオプションは推奨できません。

**このマシンでのみ暗号化する：**

ユーザ名とパスワードを暗号化します。しかし、このコンピュータとユーザアカウントでのみがジェットを実行できます。ガジェットを共有する場合はこのオプションを選択できません。

**電子署名で暗号化する：**

ユーザ名とパスワードを電子署名で暗号化します。電子署名はガジェットを実行するすべてのマシンに配布しなければなりません。



## Web サービスを使用する

Web サービスはインターネットの標準技術を使ってネットワーク上に分散したアプリケーションを連携する技術です。Web サービスの使用は単一機能のコンポーネントから企業間の商取引を担う大規模なものまで拡大しています。また、高性能な Web サービスを開発できる API のセットを Amazon や eBay などの企業が提供しています。PowerGadgets は Web サービスを使用してガジェットを描画する機能を提供します。

Web サービスを起動するには以下のパラメータが必要です。

- **Web Service WSDL** – Web サービス記述言語です。定義ファイルを記述するまたは URL を指定します。
- **Method to invoke** – 実行するメソッドの名前です。

また、Web サービスが返送する情報のタイプをガジェットに設定しなければなりません。Web サービスは整数値や Double 値などの単純な数値や内部データの配列のほかに複雑なオブジェクトのプロパティも返送します。

PowerGadgets チャートウィザードの「Adjust Data to Chart (チャートデータの設定)」オプションを使用して、チャートデータの不要なカラムを除外できます。また、データ系列の名前や順序を変更できます。詳細については、本書の「PowerGadgets チャートのカスタマイズ」の解説を参照してください。

## データのパラメータを設定する

クエリーのパラメータを使用してデータソースに接続できます。パラメータの先頭には@マークを使用します。以下のサンプルは、SELECT ステートメントを使用してテーブルから特定のデータを返送します。

```
Select firstname, rating from Agents where brokerage_id=@myParam
```

Parameters for your data (データのパラメータを設定する) ダイアログから、パラメータやパラメータのタイトルを変更できます。また、デフォルト値やその他の値を設定できます。さらに、数値選択プロンプトをエンドユーザーに表示できます。以下の図を参照してください。

Build a new Gadget

### Set Parameters for your data

Parameters:

9 myParam	Title: myParam	Prompt: First Time
-----------	----------------	--------------------

Default Value

Custom: 0  Ambient: Current Year

Predefined Values:

Name	Value
Robert	0
Jane	1
Karl	2

Allow Only Predefined Values

Buttons: Add, Remove, Finish, Cancel

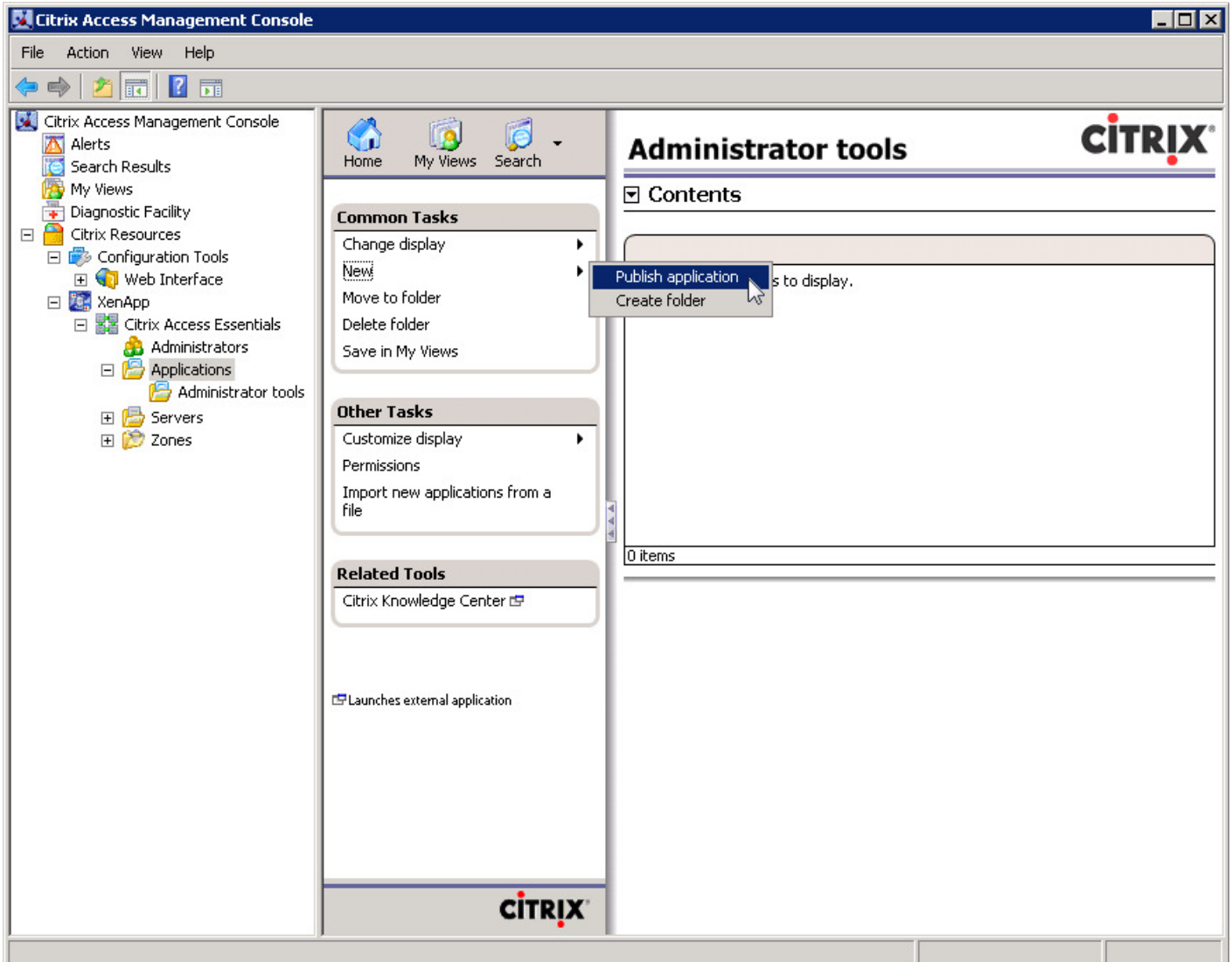
## データ更新

表示データの更新間隔 (5 秒から 1 時間の範囲) を、メニューバーの「データ」メニュー、またはツールバーで指定できます。



## ガジェットのアプリケーションを公開する

PowerGadgets Mobile for XenApp は Citrix Access 管理コンソールでガジェット・アプリケーションを公開します。最初に、サーバーマシンで Citrix Access 管理コンソールを起動してください。（通常は、[スタート>すべてのプログラム>Citrix>管理コンソール] で起動できます。）次に、コンソールツリーで[アプリケーション]フォルダを選択して、タスクペインで [共通のタスク] の[新規>アプリケーションの公開]をクリックしてください。



ウィザードの最初の画面です。公開する PowerGadgets アプリケーションの「Display name（表示名）」と「Application description（アプリケーションの説明）」を設定してください。

**My Dashboard - Publish Application**

**CITRIX**

**Name**

**Steps**

- ✓ Welcome
- Basic**
- ▶ **Name**
- Type
- Location
- Servers
- Users
- Shortcut presentation
- Publish immediately

Enter the name and description that you want to be displayed to clients for this application.

Display name:  
My Dashboard

Application description:  
Dashboard using PowerGadgets

< Back   Next >   Cancel

次に、「Choose the type of application to publish（公開するアプリケーションのタイプを選択する）」の直下で「Installed application（インストール済のアプリケーション）」を選択してください。

**My Gadget - Publish Application (3/8)**

**CITRIX**

**Type**

**Steps**


- ✓ Welcome
- Basic**
- ✓ Name
- ▶ **Type**
- Location
- Servers
- Users
- Shortcut presentation
- Publish immediately

Choose the type of application to publish.

Server desktop

Content

Installed application

 Note: To change the application type after publishing it, you must use the Change Application Type task.

**Quick Help**

Grants users access to a single application already installed on your servers.

< Back   Next >   Cancel

次の画面で、公開するアプリケーションのコマンドラインを設定します。PowerGadgets Presenter.exe (C:\Program Files\PowerGadgets for XenApp Server) と .pgf ファイルのパスをコマンドラインの引数として記述してください。以下のサンプルを参照してください。

“c:\Program Files\PowerGadgets Mobile for XenApp\PowerGadgets.Presenter.exe” “c:\Gadgets\MyGadget.pgf”

The screenshot shows the 'My Dashboard - Publish Application (4/8)' wizard window. The title bar includes the Citrix logo. The main heading is 'Location' with the instruction 'Select and configure the resource being published.' On the left, a 'Steps' pane shows 'Welcome', 'Basic' (with sub-steps 'Name', 'Type', 'Location', 'Servers', 'Users', 'Shortcut presentation'), and 'Publish immediately'. The 'Location' step is active. The main area contains the following fields and instructions:

- Enter the application location**
- Enter the command line for the application you want to publish.** You can also specify a default working directory for users. [More...](#)
- Command line:** A text box containing the command: `files\PowerGadgets Mobile for XenApp\PowerGadgets.Presenter.exe" "c:\Gadgets\MyGadget.pgf"` with a 'Browse...' button to its right.
- Working directory:** A text box containing the path: `c:\program files\PowerGadgets Mobile for XenApp` with a 'Browse...' button to its right.

At the bottom of the window are three buttons: '< Back', 'Next >', and 'Cancel'.

次の画面で、ガジェットのアプリケーションをホストするサーバを指定してください。

**My Dashboard - Publish Application (5/8)**

**CITRIX**

**Servers**  
Configure which servers will host the application.

**Steps**

- ✓ Welcome
- Basic**
- ✓ Name
- ✓ Type
- ✓ Location
- ▶ **Servers**
- Users
- Shortcut presentation
- Publish immediately

Choose the servers on which this published application will run when being delivered via ICA.

Servers:

Name	Relative location	Application location
XENAPPSERVER	Servers	Default

1 item

Add... Edit... Remove Import from file...

< Back Next > Cancel

次に、ガジェットのアプリケーションへアクセスを許可するユーザを指定してください。

My Dashboard - Publish Application (6/8)

**CITRIX**

### Users

Configure the users who may access the application.

**Steps**

- ✓ Welcome
- Basic**
- ✓ Name
- ✓ Type
- ✓ Location
- ✓ Servers
- ▶ **Users**
- Shortcut presentation
- Publish immediately

Specify the users who can access this application.  
To add users, choose a directory type at the bottom and select Add. [More...](#)

Allow anonymous users  
 Allow only configured users

Configured users:

Select directory type:

< Back   Next >   Cancel



デフォルトでガジェットのアプリケーションに PowerGadgets アイコンが表示されます。次の画面でアプリケーションのアイコンを変更できます。

My Dashboard - Publish Application (7/8) ✕


**CITRIX**

### Shortcut presentation

Configure the appearance and location of the application shortcut.

These settings function differently on different clients. [More...](#)

Application icon

Icon: 

Client application folder:

Application shortcut placement

Add to the client's Start menu

Place under Programs folder (Citrix XenApp plugin only)

Start menu folder (Citrix XenApp plugin only):

Add shortcut to the client's desktop

ガジェットを表示サイズをモバイルデバイスに合わせて変更するには、「Configure advanced application settings now (現在の画面でアプリケーションのアドバンス設定を行う)」をチェックしてください。

**My Dashboard - Publish Application (8/12)**

**CITRIX**

**Publish immediately**

**Steps**

- ✓ Welcome
- ✓ Basic
- ✓ Name
- ✓ Type
- ✓ Location
- ✓ Servers
- ✓ Users
- ✓ Shortcut presentation
- ▶ **Publish immediately**
- Advanced
  - Content redirection
  - Limits
  - Client options
  - Appearance

The essential settings for this application have been configured.

When the wizard is finished, the application will be available to the configured users immediately. If you don't want the application to be available immediately, you can disable it until you are ready.

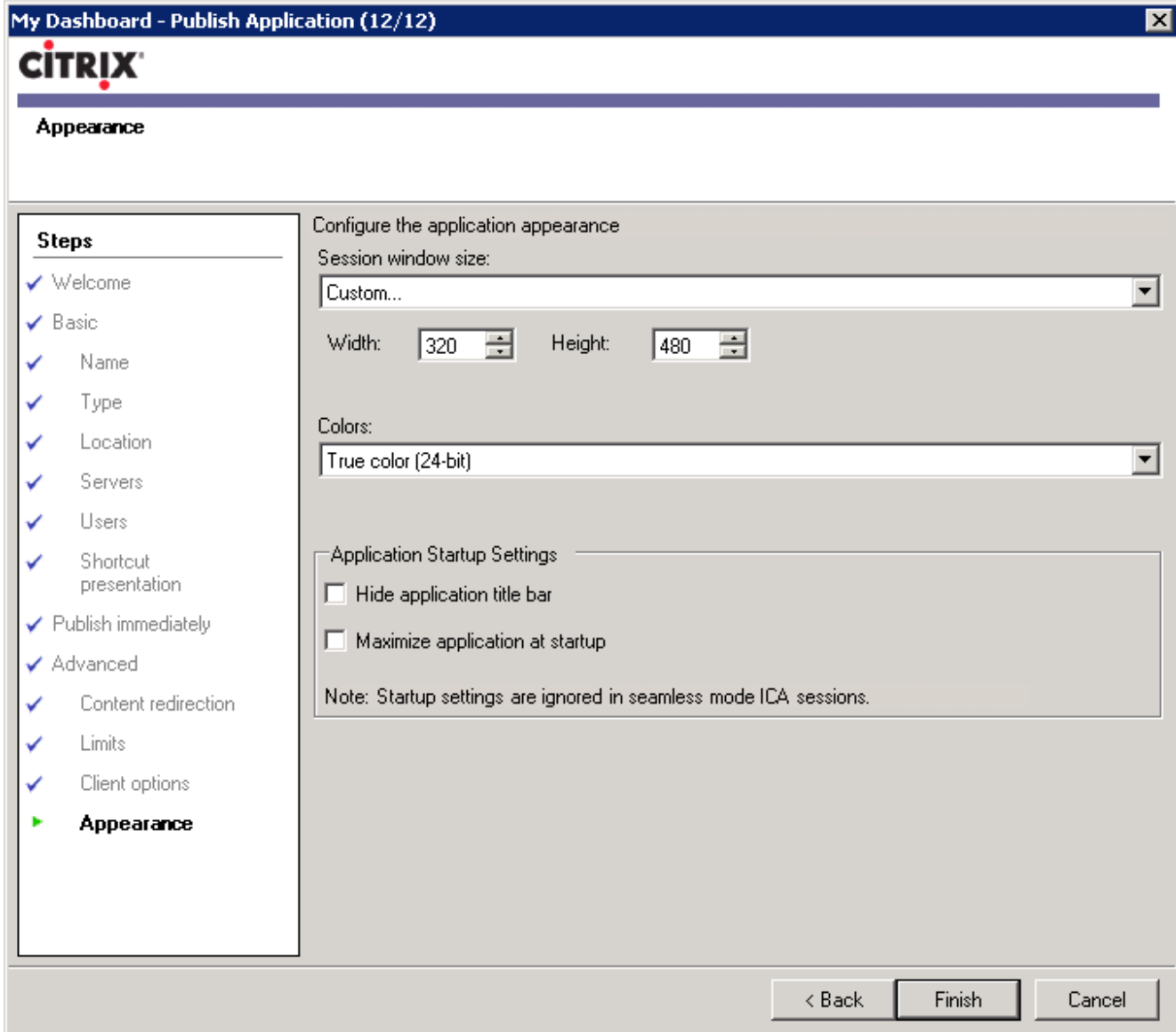
Disable application initially

Advanced application settings default to the most common settings and are not required to be set for the application to be available to users. You can configure these settings now, or you can configure them later using the application Properties tasks.

Configure advanced application settings now

< Back   Next >   Cancel

最後の画面で、表示オプションを選択してください。以下のスクリーンショットでは iPhone 画面のカスタムサイズを設定しています。



PowerGadgets アプリケーションで複数のガジェットを同時に実行するには、バッチファイルを作成してください。（テキストエディタを使用してテキストファイルを「.bat」で保存してください。）そして、実行する.pgf ファイルのリストを作成してください。\_size および \_position パラメータを使用してダッシュボードの表示をカスタマイズできます。以下の記述フォーマットを使用してください。

start [PowerGadgetsPresenter.exe のパス] [.pgf ファイルのパス] /\_size:[幅],[高さ] /\_position:[左位置],[上位置]

## 記述サンプル:

```
start "c:\Program Files\PowerGadgets Mobile for XenApp\PowerGadgets.Presenter.exe"  
C:\Gadgets\HospitalAdmissions.pgf /_size:380,480 /_position:0,0  
start "c:\Program Files\PowerGadgets Mobile for XenApp\PowerGadgets.Presenter.exe"  
C:\Gadgets\HospitalRevenue.pgf /_size:380,480 /_position:384,0  
start "c:\Program Files\PowerGadgets Mobile for XenApp\PowerGadgets.Presenter.exe"  
C:\Gadgets\HospitalStaffReview.pgf /_size:380,480 /_position:0,505  
start "c:\Program Files\PowerGadgets Mobile for XenApp\PowerGadgets.Presenter.exe"  
C:\Gadgets\CustomerService.pgf /_size:380,480 /_position:384,505
```

## 追加情報

### Android

現在のバージョンの Citrix Receiver for Android は、デバイスの画面に収まるようにリモートデスクトップのサイズを変更できません。Android の Web ブラウザと同様にズームイン/ズームアウトの機能を使用できます。セッション画面のサイズを「全画面」に設定することをお勧めします。

### iPhone

ホーム画面で、「設定」、「表示オプション」、「解像度」のデフォルト設定を画面に合わせて変更してください。セッション画面のサイズは、カスタム設定 (480x320) が最適です。

### Windows Mobile

Windows Mobile for Citrix Receiver は、アプリケーションごとにセッション解像度を変更できます。ガジェットを表示して最適な解像度を設定してください。

## サンプルについて

製品のインストーラにサンプルが含まれています。これらのサンプルは Compact SQL Database を使用しているために、.sdf ファイルを .pgf ファイルと同じフォルダに格納しなければなりません。また、Compact SQL Database では複数のユーザが同時にログインできません。サンプルを閲覧できるのは常に一人のユーザだけです。

## PowerGadgets チャートのカスタマイズ

### チャートのウィザード

#### チャートギャラリーの選択 (Select Chart Gallery)

棒グラフ、折れ線グラフ、散布図、経済チャートなど入力データに最適なギャラリーをチャートで使用できます。また、このメニューを使用して 2D/3D 表示モードを選択できます。さらに、複数のギャラリーを組み合わせることでコンビネーションチャートを作成できます。

## データ (Data)

データソースの変更などを指定できます。本書で「データを取得してガジェットで描画する」の解説を参照してください。

## チャートデータの設定 (Adjust Data to Chart)

表示データの列をチャートから除外できます。また、データ系列の名前や順序を変更できます。

## 自動フォーマット (Auto Format)

デザインツールの PowerGadgets Mobile Creator にはカラスキームのパレットが定義されています。カラスキームを選択するだけでパレットの配色を自動的にチャートのコンポーネントに適用できます。コンポーネントの色は個別に変更できます。また、輪郭線や背景（グラデーションからカスタムイメージまで）の色も変更できます。

## 座標軸とペイン画面の設定 (Configure Axes and Panes)

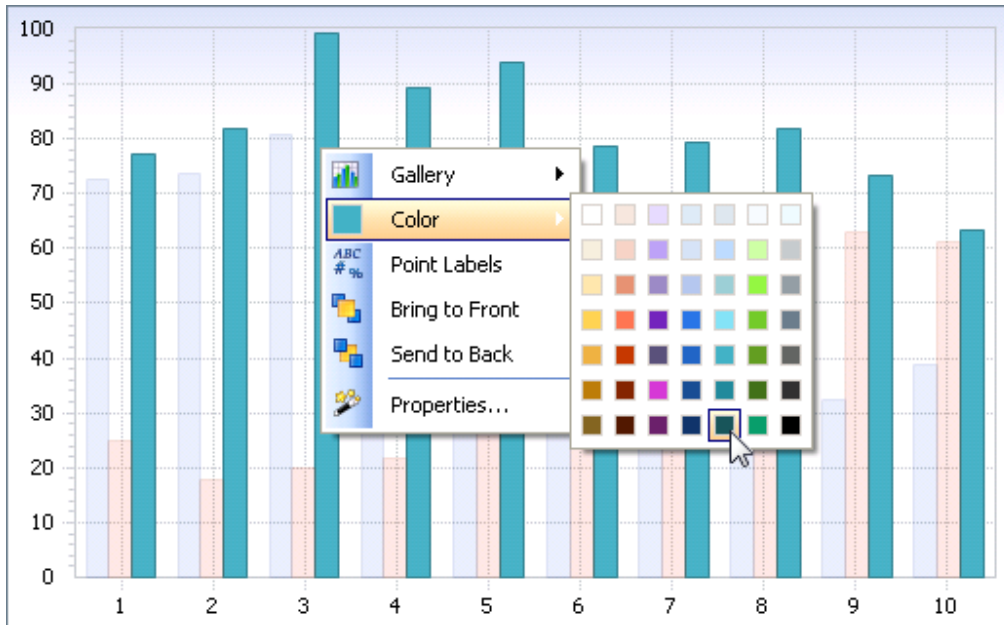
チャートのガジェットは転送データの座標軸を自動的に作成します。このメニューを使用して、座標軸のラベルやグリッド線をカスタマイズできます。また、セカンダリ Y 軸やペイン画面を作成できます。

## 凡例ボックス、タイトル、およびポイントラベルの設定 (Configure Legends, Titles and Point Labels)

チャートデータの凡例ボックス、タイトル、およびポイントラベルはデフォルトで「非表示」に設定されています。このメニューを使用して、これらのエレメントをチャートで「表示」できます。

## その場で編集 (Edit Chart In-Place)

このオプションを選択すると、右クリックでチャートのコンテキストメニューを表示して「その場で編集」が可能になります。たとえば、データポイントを右クリックしてデータ系列の色を変更できます。以下の図を参照してください。



チャートのデータ系列、プロット領域、凡例ボックス、および座標軸などを右クリックしてコンテキストメニューを表示できます。

## データグリッドを表示する (Enable Data Grid)

データグリッドを表示する/しないを選択できます。データグリッドはデフォルトで「非表示」に設定されています。

## ツールバーを表示する (Enable ToolBar)

エンドユーザはツールバーを使用してチャートをカスタマイズできます。ツールバーが「表示」に設定されていても、デザインツールの PowerGadgets Mobile Creator では表示しません。ガジェットを保存してプレビューを表示してください。

## アドバンス設定 (Advanced Settings)

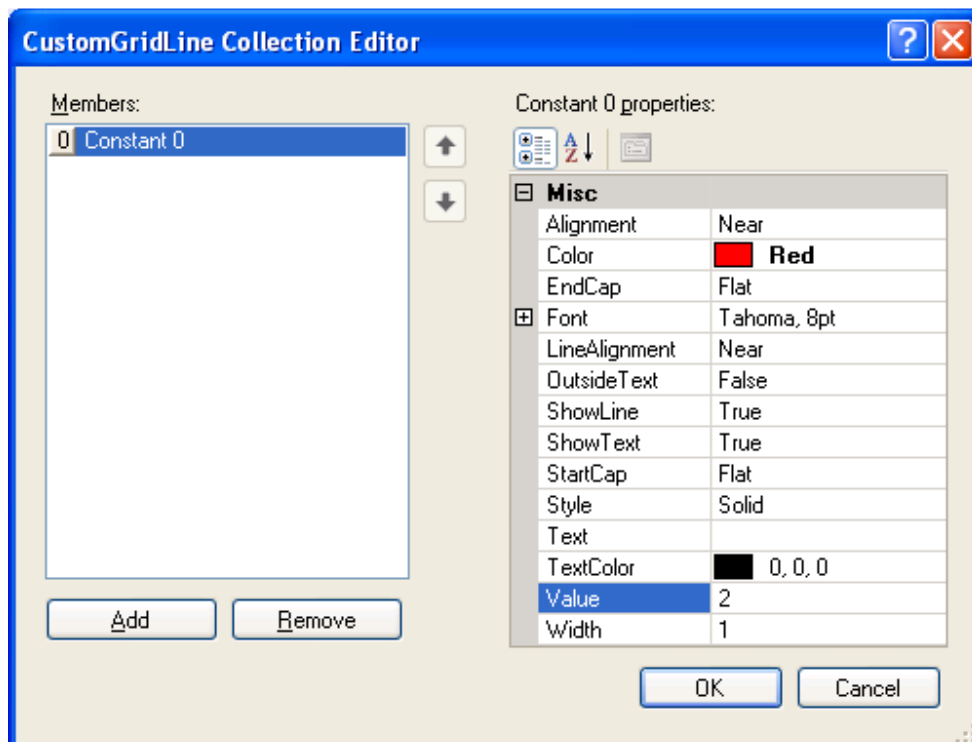
「チャートウィザード (Chart Wizard)」のプロパティリストを使用してチャートのガジェットを簡単にカスタマイズできます。さらに、「アドバンス設定 (Advanced Settings)」のプロパティリストから詳細なプロパティを変更できます。以下の図を参照してください。

Chart Wizard		Advanced Settings
<b>Appearance</b>		
Background	Gradient	
Border	<b>Simple Border</b>	
Font	<b>Tahoma, 8pt</b>	
ForeColor	0, 0, 0	
Palette	Default	
PlotAreaColor	<input type="checkbox"/> Transparent	
<b>Attributes</b>		
AllSeries	<b>Global Attributes</b>	
ConditionalAttributes	0 Items	
DataGrid	<b>Data Grid</b>	
Gallery	Lines	
LegendBox	<b>Legend Box</b>	
Series	3 Items	
View3D	<b>3D Attributes</b>	
<b>Axes And Titles</b>		
AxesStyle	FlatFrame	
AxisX	<b>Main X Axis</b>	
AxisY	<b>Main Y Axis</b>	
AxisY2	<b>Secondary Y Axis</b>	
Panes	1 Items	
Titles	0 Items	
<b>User Interaction</b>		
ContextMenus	True	
Highlight	<b>Highlight Attributes</b>	
Personalize	<b>Personalization Attribute</b>	
ToolBar	<b>ToolBar</b>	
ToolTips	True	
<b>Window</b>		
Anchor	TopLeft	
Caption	PowerGadgets	
Floating	False	
Group		
Location	-1, -1	
Modal	False	
Name		
RefreshInterval	<b>00:01:00</b>	
Sidebar		
Size	0, 0	
TopMost	False	

ここでは、チャートの X 軸にカスタムグリッド線を表示します。AxisX プロパティを開いて CustomGridLines をクリックしてください。リスト内に現れた「...」ボタンをクリックすると CustomGridLine コレクションエディタが開きます。

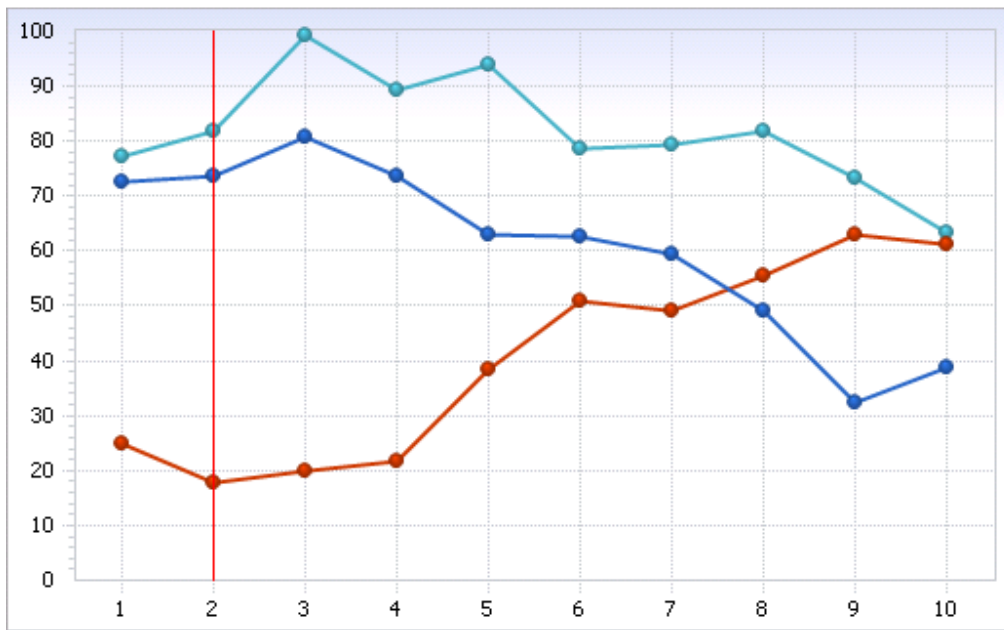
[-] <b>Axes And Titles</b>	
AxisStyle	FlatFrame
[-] <b>AxisX</b>	
AxisX	<b>Main X Axis</b>
AutoScroll	False
CustomGridLines	0 Items <span>...</span>
FirstLabel	0

次に CustomGridLine コレクションエディタで、コレクションの新しいメンバを作成して表示アトリビュートを設定します。






新しく作成したカスタムグリッド線の表示結果は以下のとおりです。

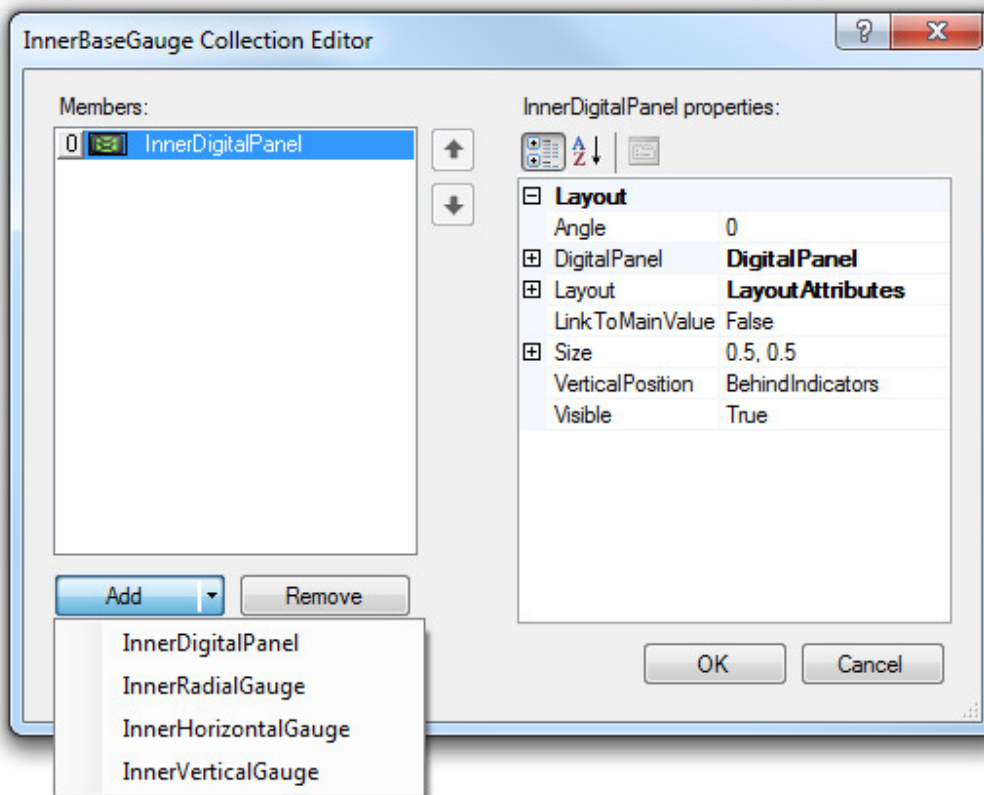


## PowerGadgets ゲージのカスタマイズ

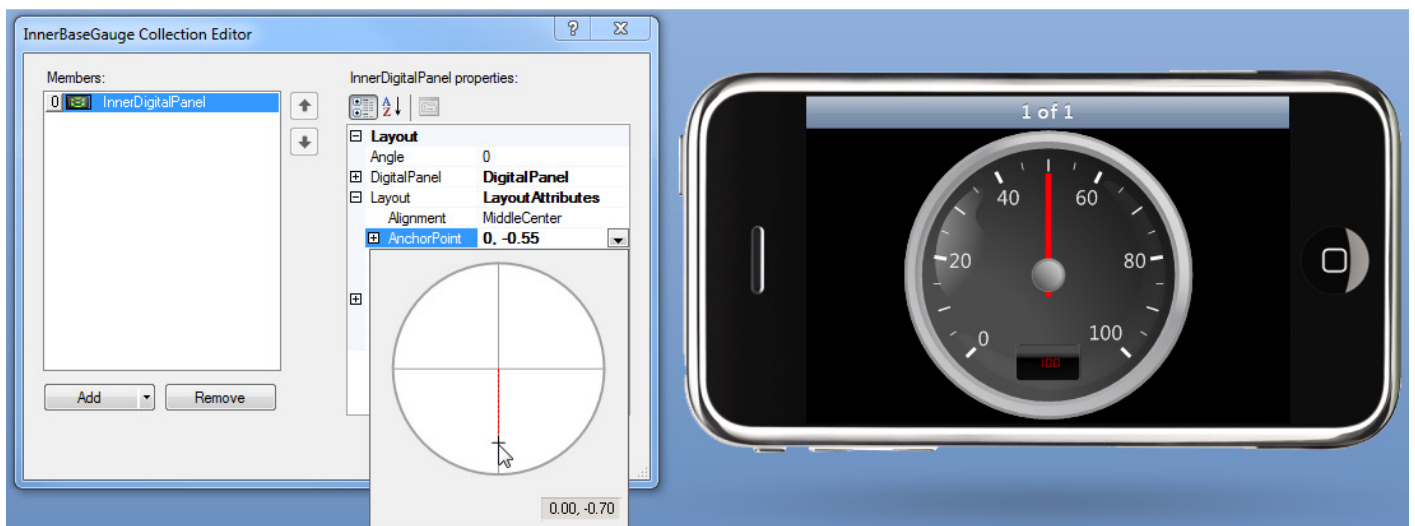
「ゲージタイプ (Gauge Type)」を選択してから、「アドバンス設定 (Advanced Settings)」のリストを使用して詳細なプロパティを設定できます。以下の図を参照してください。

Gauge Type	Advanced Settings
[-] <b>Appearance</b>	
Antialiasing	All
BackColor	<input type="checkbox"/> <b>Transparent</b>
[+] Border	<b>RadialBorder</b>
[+] Font	<b>Segoe UI, Larger</b>
Palette	<b>BlackForest</b>
Shadow	None
Style	<b>0</b>
[-] <b>Behavior</b>	
Images	(Collection)
InnerGauges	(Collection)
[+] MainIndicator	 <b>Main Needle</b>
[+] MainScale	Main RadialScale (0, 100)
[+] Scales	<b>(Collection)</b>
Titles	(Collection)
ToolTip	
ToolTipEnabled	True
[-] <b>Data</b>	
MainValue	50
[-] <b>Window</b>	
Caption	PowerGadgets
Floating	False
Group	
Modal	False
RefreshInterval	<b>00:30:00</b>
Sidebar	
TopMost	False

ここでは、組み込みデジタルゲージをラジアルゲージ内に表示します。まず、アドバンス設定 (Advanced Settings) のリストで Behavior プロパティの InnerGauges をクリックして InnerBaseGauge コレクションエディタを開いてください。そして、追加 (Add) ボタンで新しいメンバを追加してください。追加ボタンの矢印をクリックして組み込みゲージのタイプを選択するメニューを表示できます。



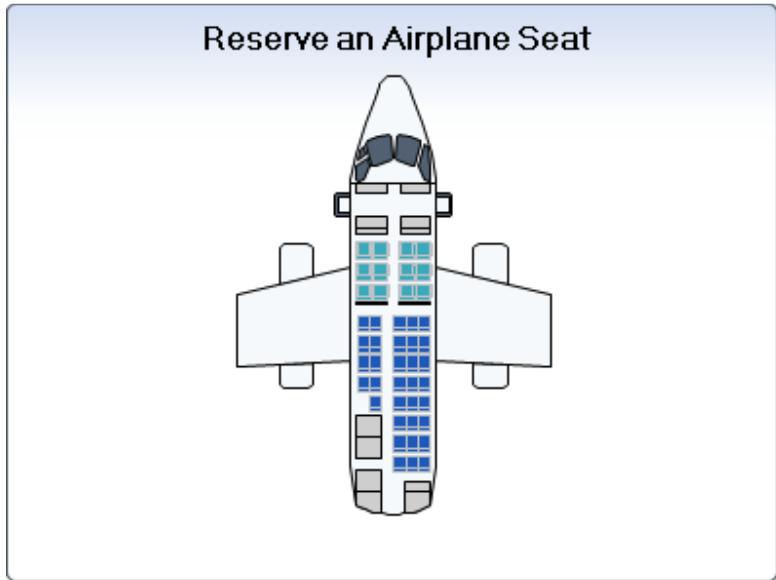
次に、アドバンス設定のリストから詳細なプロパティを設定します。たとえば、組み込みゲージのレイアウトを変更するには **Layout** プロパティを使用します。以下の図は、**AnchorPoint** プロパティを使用してアンカーポイントの位置をマウスポイントで指定しています。



同様に、アドバンス設定のリストを使用して、ゲージのスケール、イメージ、およびタイトルなどをカスタマイズできます。

## PowerGadgets マップのカスタマイズ

PowerGadgets マップは、グラフィカルなマップと PowerGadgets のダイナミックな機能を提供します。PowerGadgets マップのライブラリから豊富な種類の地図を選択できます。開発者は、これらの地図を使用して簡単にマップのガジェットを作成できます。また、オリジナルの SVG マップを自由に作成できます。ここでは、マップをカスタマイズして航空機の座席を予約するガジェットを作成します。



### マップのウィザード

#### マップの選択 (Select Map)

デザインツールの PowerGadgets Mobile Creator は各種の便利なマップを提供します。また、カスタムマップを作成して Custom Maps フォルダに保存するだけで新しいマップをコレクションのリストに追加できます。Custom Maps フォルダのデフォルトロケーションは「C:\Program Files\PowerGadgets Mobile Creator\Maps\Custom Maps」です。

#### データ (Data)

データソースの変更などを指定できます。本書で「データを取得してガジェットで描画する」の解説を参照してください。

#### マップデータの設定 (Adjust Data to Map)

表示データの列をマップから除外できます。また、データ系列の名前や順序を変更できます。

#### 自動フォーマット (Auto Format)

デザインツールの PowerGadgets Mobile Creator にはカラスキームのパレットが定義されています。カラスキームを選択するだけでパレットの配色を自動的にマップのすべてのコンポーネントに適用できます。コンポーネントの色は個別に変更できます。また、輪郭線や背景 (グラデーションからカスタムイメージまで) の色も変更できます。

#### 凡例ボックス、タイトル、およびポイントラベルの設定 (Configure Legends, Titles and Point Labels)

凡例ボックス、タイトル、およびポイントラベルはデフォルトで「非表示」に設定されています。このメニューを使用して、これらのエレメントを個別に「表示」できます。

#### データグリッドの表示 (Enable Data Grid)

データグリッドを表示する/しないを選択できます。データグリッドはデフォルトで「非表示」に設定されています。

### **ツールバーの表示 (Enable ToolBar)**

エンドユーザはツールバーを使用してマップをカスタマイズできます。ツールバーが「表示」に設定されていても、デザインツールの **PowerGadgets Mobile Creator** では表示できません。ガジェットを保存してプレビューを表示してください。

## 索引

- [\\_position パラメータ, 21](#)
- [\\_size パラメータ, 21](#)
- [Access ファイル, 9](#)
- [Android, 4](#)
- [自動サイズ設定, 7](#)
- [座標軸, 22](#)
- [バッチファイル, 21](#)
- [Blackberry, 4](#)
- [Citrix Access 管理コンソール, 13](#)
- [チャートの設定, 22-27](#)
- [ゲージの設定, 28-29](#)
- [マップの設定, 30-31](#)
- [データ接続, 9](#)
- [セキュリティ認証, 10](#)
- [ダッシュボード, 5, 21](#)
- [データ, PowerShell, 8](#)
- [データ, SQL データベース, 9](#)
- [データ, Access, 9](#)
- [データ, OleDb, 9](#)
- [Data, ODBC, 9](#)
- [データ, Web サービス, 11](#)
- [データ, パラメータ, 12](#)
- [データ, リアルタイム, 12](#)
- [デバイス, 4, 7](#)
- [暗号化, 10](#)
- [ギャラリー, 22](#)
- [グリッド, 5-6](#)
- [イメージ, 7](#)
- [iPhone, 4](#)
- [マルチタスク, 21](#)
- [ODBC, 9](#)
- [OleDb, 9](#)
- [オリエンテーション, 7](#)
- [ペイン画面, 22](#)
- [パラメータ, 12](#)
- [パスワード, 10](#)
- [パーセント値, 7](#)
- [ピクセルサイズ, 7](#)
- [ポジション変更, 5](#)
- [PowerGadgets Mobile Creator, 5](#)
- [PowerGadgets Mobile for XenApp, 4](#)
- [Powershell, 8](#)
- [アプリケーションの公開, 13-22](#)
- [リアルタイム, 12](#)
- [データ更新, 12](#)
- [システム要求, 4](#)
- [サイズ変更, 5](#)
- [スクリプト, Powershell, 8](#)
- [セッション画面のサイズ, 21](#)
- [デバイスのスキン, 7](#)
- [SQL データベース, 9](#)
- [ストーリーボード, 5](#)
- [Symbian, 4](#)
- [タイトル, 7](#)

Web サービス, 11

Windows Mobile Professional, 4

ウィザード, チャート, 22

WSDL, 11